

令和3年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和4年6月27日

部課名 農林部 農政課

施設名	岩木カントリーエレベーター
施設の設置目的	農業経営における省力及び低コスト生産を促進し、農業経営の改善を図る。
所在地	弘前市大字一町田字富岡192番地
指定管理者名	つがる弘前農業協同組合
指定期間	平成31年4月1日から令和5年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>前年度と比較し稼働率の減少はあるものの、概ね事業計画に基づいた適正な管理運営をしていた。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>自主事業なし</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>岩木カントリーエレベーター運営協議会を開催し、収穫期における利用期間等の意見交換を行い、決定事項を利用者全員に周知していた。また、偏った利用者への利用制限等が生じないよう、平等な荷受を行っていた。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>アンケート用紙を設置し、利用者の意見・要望の把握に努めていた。 また、利用者からの意見に応え、令和3年産より農薬節減米の取扱いを廃止し、通常栽培米(JA米)の取扱いに変更するなど、実務への反映も行っていた。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和3年産米 ※括弧内は令和2年産米の数値 利用者数 215名(223名) 乾籾換算重量 991.9t(1,146.2t) 稼働率 49.5%(57.2%)</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>入庫数量の減少により前年度と比較し収入の減少はあるものの、概ね計画的で安定した予算執行に努めており、適正に行われていた。</p>

7 実地調査の結果

施設の運営・管理など適正に行われていた。

8 成果指標の達成度

成果指標である利用人数270人、稼働率70%に対し、実績は利用人数215人、稼働率49.5%と、達成率はそれぞれ79.6%、70.7%であった。

さらなる利用率の向上に向け、周知・改善活動を実施していただく。

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	事業計画、業務報告を適切に行い、職員の研修を重ねることにより、法令順守・公平な対応を進める。	新規利用者の獲得及び利用者ニーズの把握を重点的に進める。
施設の管理	A	利用者の安全対策を第一に考え、老朽化による施設の更新を行い、効率的な荷受を安全に進める。	施設・設備の老朽化により、維持管理費が増える。
経理の状況	B	荷受伝票の整理、適切な精算業務を行い、在庫管理も徹底している。	経費を節約して、収支のバランスの改善を心がける。
団体の財務状況	B	健全な経営を行っている。	

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書・基準書等に基づき、概ね適正に実施している。また、荷受期間中は、利用者のサービスが低下しないように増員していた。	利用者が頭打ちの状態でもどこまで増やせるかが課題となっているため、引き続き他地区からの新規利用者を増やすことが必要である。
施設の管理	B	利用者が施設を安心して利用できるよう適正に管理していた。	今後も適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減等、概ね適正に実施していた。	今後も適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定的な経理基盤を有していた。	今後も安定した財務状況を意識していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する